

講義名	ビジネス英語/英文ビジネスニュース(GSP・上級)			授業形態	
担当教員	クリストファー・ニューワーフ		開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4時限	
	単位数	2	履修開始年次	2年生	ナンバリング・コード ENG227

主題と概要

・対面授業
 ・今まで習得した語彙や文法知識を活用し、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを身近な話題や、世界的な視野から学ぶ。授業では、日常的かつビジネス的な場面を疑似体験しながら、ペアワークなどを多数取り入れた実践演習を行い、英語を理解した上で能動的、且つ関連に自分の考えを伝えたりする等、中級に向けての英語コミュニケーション能力を高める。

到達目標

・日常会話に必要な基本的な語彙と文法の習得
 ・社会生活上、ビジネスシーンを含む様々な状況での英会話のスピーキング練習
 ・実際の日常生活で、英会話をする際の自信を身に付ける

提出課題

授業内でアナウンスします。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業内で講評・解説などを行います。

評価の基準

出席状況、授業中の活動状況、課題など平常点を60%、セメスタ・末の最終試験（定期試験）を40%として総合的評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

教科書は必ず購入の上、授業に参加するようにしてください。教科書を授業に持参しなかった場合、毎回減点対象になります。
 英語の習得には、継続的な努力・学習が必要ですので、毎日の学習習慣を身に付けることが重要です。また、授業の出席も非常に大事ですので、遅刻・欠席が無いように努めてください。
 このコースでは、学生の積極的な授業参加が求められます。講師や学生と授業に対話訓練としてのアクティビティを行い、学んだ英語を身に付けます。授業は英語のみで行い、日本語の発言は禁止です。授業中の積極的な参加態度を成績として評価しますので、練習の際の発言する努力とできる限りの積極的な参加が重要です。授業中は、クラス全員が一緒に学んでいます。お互いに理解するのを助け合いまじょう、一人で学ぶよりは、みんなで一緒に学ぶ方が、学習効果が促進されます。

教科書

.Berlitz English for University Students book 2, 4th edition. Ver.3.		Berlitz Japan., Inc.	2795		
--	--	----------------------	------	--	--

参考図書

その他

・教科書の価格は変更となる可能性があります。
 ・プリント資料及び参考文献は必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

1. Course Introduction, Unit 1: Scheduling a meeting コース紹介、面会スケジュール
2. Unit 2: Taking and leaving a message メッセージを受け取る、残す
3. Unit 5: Explaining your responsibilities 自身の責任を説明する
4. Unit 6: Inquiring about a part-time job アルバイトを探す
5. Unit 8: Getting help in a store 店で案内を乞う
6. Unit 9: Comparing stores 店を比較する
7. Unit 15: Language Focus 言語の高度
8. Unit 18: Talking about your neighborhood 近隣について話す
9. Unit 21: Preparing for an interview 面接準備
10. Unit 24: Discussing something new 新商品についての議論
11. Unit 25: Discussion - Expressing opinions ディスカッション-意見を表現する
12. Unit 26: Discussion - Building a discussion ディスカッション-話題を切り上げる
13. Unit 27: Discussion - Making your point ディスカッション-論点を明確にする
14. Unit 28: Discussion - Difficult situations ディスカッション-難しい状況について
15. Unit 30: Final Discussion 最終ディスカッション

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

宿題や課題-教師が選んだすべての課題を行うこと（1時間）
 復習-前の授業の内容を読み、まとめて下さい。不明な語彙や文法は必ず調べ、発音練習をすること。（1.5時間）
 予習-次の授業までに、不明な語彙などを調べ、まとめておくこと。使い方などは積極的に講師に質問して下さい。（1.5時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

今まで習得した語彙や文法知識を活用し、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを身近な話題や、世界的な視野から学ぶ。授業での、日常的かつビジネス的な場面の実践演習を通して、よりレベルの高い英語コミュニケーション能力を修得する。これにより、卒業時に身につけておくべき資格・能力の育成につなげる。これらの能力は、各学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識、経済学部生に求められる社会の諸問題を幅広い観点から考察、分析する力、人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考